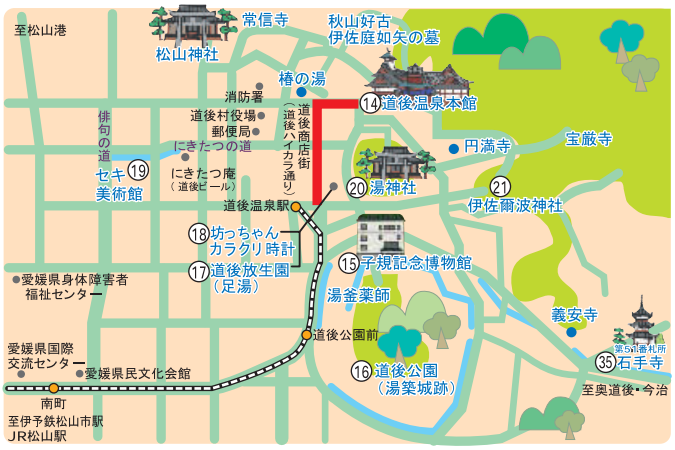
道後温泉周辺

道後温泉の歴史

3000年の歴史を誇る日本最古の道後温泉は、古代、伊予の温泉（ゆ）、熟田津（にきたつ）の温泉（ゆ）といわれていました。それが道後と呼ばれるようになったのは、645年のことです。興味深い伝承として、脛に傷をして苦しんでいた一羽の白鷺が岩間から噴出する温泉を見付け、足を浸したところ傷が完全に癒え、元気に飛び去ったということがあります。それを見た人々が不思議に思い入浴してみると、爽快で疲労を回復でき、病人もいつのまにか全快したことから利用されるようになりました。



重要文化財　振鷺閣（しんろかく）

⑭ 道後温泉本館

伊予鉄道道後温泉駅から徒歩約5分、
松山ICから約8.5km
古風で風格がある木造三層楼の公衆浴場で、広々とした神の湯、ちょっとこぶりの霊（たま）の湯の2種類・5つの浴室があります。また、最上階”振鷺閣”には残したい「日本の音風景100選」に選定された刻太鼓が吊るされ、午前6：00・正午・午後6：00に打ち鳴らされます。

【 又新殿（ゆうしんでん）】

明治32年に建てられた皇族専用の湯殿で、玄関の間、御次の間、玉座の間となっており、その隣に警護の人が控える武者隠しの間があります。入浴することはできませんが、観覧（有料）の際、職員が説明しています。

⑮ 松山市立 子規記念博物館

伊予鉄道道後温泉駅から徒歩約4分、
松山ICから約8km
近代俳句の祖といわれる正岡子規を中心に、夏目漱石や松山市が生んだ文人たちの業績を集大成した文学系の博物館です。

⑯ 道後公園（湯築城跡）

伊予鉄道道後公園前すぐ、
松山ICから約8km
明治19年に公園として整備して以来、桜の名所、市民や観光客の憩いの場となりました。湯築城跡の発掘調査をもとに、武家屋敷など復元、出土遺物なども公開され、散策しながら歴史を学べる公園です。

⑰ 道後放生園（ほうじょうえん）（足湯）

道後温泉本館で使われている源泉の湯を利用しています。歩き疲れた足をあったか～い温泉につけて癒しましょう。

⑱ 坊っちゃん カラクリ時計

軽快なメロディーに乗って「坊っちゃん」の登場人物が現れます。

㉟ 石手寺（第51番札所）

JR松山駅からバスで約20分、
松山ICから約9km
国宝に指定されている二王門は、全国屈指の楼門といわれ、屋根入母屋造り本瓦葺きの重層。中に安置されている金剛力士像は、運慶派の作といわれています。

⑲ セキ美術館

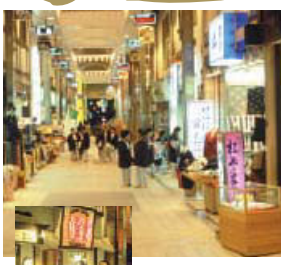
伊予鉄道道後温泉駅から徒歩約5分、
松山ICから約9km
黒田清輝、小磯良平ら近・現代作家の洋画や日本画、ロダンの作品などを展示しています。

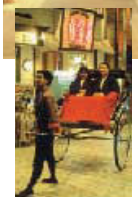
⑳ 湯神社

伊予鉄道道後温泉駅から徒歩約5分
湯神社は、道後温泉の守り神として、大国主命（おおくにぬしのみこと）と少彦名命（すくなひこなのみこと）が祀られています。

㉑ 伊佐爾波神社

伊予鉄道道後温泉駅から徒歩約15分、
松山ICから約8.5km
松山藩、松平3代藩主定長が江戸城で行われた流鏑馬（やぶさめ）の大願成就のお礼に建立したといわれています。本殿は宇佐・石清水両八幡とともに日本に三つしかない八幡造りで国の重要文化財に指定されています。





㉒ 道後商店街（道後ハイカラ通り）

旅のマナー

●宿泊施設について…　旅館では浴衣・ぞうりのまま廊下を歩いたり風呂や食事をするのはマナー違反ではありません。ホテルでは、部屋を出たら浴衣やスリッパで動き回ることはマナー違反ですが、温泉施設などがあるホテルではマナー違反にはなりませんので、宿泊施設にてご確認ください。

●入浴について…　脱衣室のかごやロッカーは一人1つが常識です。一人でいくつも使わないように。大浴場では、髪の毛が湯船につからないようにロングヘアーの人はゴムなどで髪を束ねるようにしましょう。また、湯船に入る前には必ずかけ湯をし、体の汚れを落としてから入りましょう。バスタオルを巻いたり、水着を着て湯船に入らないでください。タオルを湯船につけるのも衛生上よくないのでやめましょう。脱衣室に戻るときは濡れた身体をきちんと拭いてからにしましょう。

●チップについて…　日本では、現在サービス料という形になっており、宿泊代金の中に含まれます。そのため、お部屋係さんや仲居さんに渡す必要はありません。